

こんにちはは山下千秋です



「しんぶん赤旗」読者ニュース

2011年6月19日 第2号

発行 日本共産党佐世保市委員会
電話 25-6811 F A X 25-8740

生活相談はお気軽にお電話を

山下千秋市議

事務所 0956-25-3030

携帯 090-4474-2666

党地区事務所 0956-25-6811



玄海原発の運転再開中止・廃炉に

原発からの
撤退を求めての

九電に申し入れ

山下千秋佐世保市議は6月10日、仁比総平前参議院議員や赤嶺政賢衆議院議員(代理)、九州7県の県議や市議24名とともに、九電本社(福岡市)に原発からの撤退を求める申し入れを行いました。



申し入れの参加者は、これまで国や電力会社が繰り返してきた「安全神話」は崩壊したこと、福島原発の事故を教訓にするならば、原発依存から再生可能なエネルギーへ転換すべきだと訴えました。しかし、九電は「事故が起きないようにやります」と繰り返すばかり。しまいに「国は、福島原発事故は津波による電源喪失が事故の原因と、佐賀に説明した」「電源を確保するから大丈夫」と言う始末。

山下市議らは「福島原発事

故の原因は特定されていないし、収束しない中で原発を再稼働させようとは、なんと言ったことか」と厳しく抗議しました。

申し入れの様子は、インターネットやテレビ、新聞などで報道されました。

申し入れの内容

原発撤退を求め、九州電力へ提出した要望項目(玄海原発に関する分)

●営業運転から36年目になる1号機は、脆性遷移温度が98℃になっており、専門家からも危険だとの声が上がっている。永久停止すること。

●地震・津波に対して、万全な対策が講じられない限り、2号機は運転再開をしないこと。4号機の運転を見合わせる。

●毒性がウランの比ではない

6月議会は6月23日から

定例議会が6月23日から始まり、山下千秋市議は選挙公約実現のため次の問題をとりあげる予定です。(一般質問の日は後日お知らせします)

①小・中学校の耐震化や公共

大震災から3ヶ月



救援募金と「原発撤退」の署名行動に参加

3月11日の大震災からちょうど3ヶ月となる6月11日(土)。山下千秋市議は四ヶ町で被災者支援と復興のための募金と、「原発ゼロ」をめざす署名行動を、党北部地区委員会といっしょにとりくみました。

「少ないですけど」と言いながら募金をしてくださる買い物客。「原発はイヤです」と言って署名する高校生。

約2時間足らずで16056円の募金が寄せられました。この募金は党中央に届け、党中央が責任を持って被災者(地)の支援と復興に活かします。

原発からの撤退を求める署名へのご協力を

原発から自然エネルギーへ…子々孫々の代まで安心して住める日本にするために署名への協力をお願いします。集まった署名は「赤旗」配達・集金者へお渡しください。

「原発」ポスターを貼ってください

「原発から徹底を」のポスターが到着しました。ご自宅に貼ってくださいませんか。

ご連絡をお待ちします。

プルトリウム(MOX 燃料)を使用する3号機のプルサーマル発電は、運転再開をせず中止すること。

●使用済み燃料保管のリラックキング(貯蔵プールのラックの間隔を狭める)工事は、臨界の危険がより高まるので行

わないこと。

●これまでの「安全神話」から抜けだし、原発依存から再生可能エネルギーへ転換すること。太陽光などの自然エネルギーを現実的電力に置き換え、長期的なエネルギーの安定供給をはかること。